

大雨の被害を乗り越える地域を目指して

防災・減災教育の主体的・対話的な体験活動の推進

×

令和2年7月豪雨の教訓を生かして

福岡県大牟田市立みなと小学校

教諭 石橋 剛志



発災翌日（7月7日） 6:30 学校正門方面

【浸水高】・学校正門前 150cm ・校舎1階 65cm



発災翌日（7月7日） 6:30

【浸水高】・学校正門前 150cm ・校舎 1階 65cm

令和2年7月豪雨を経験して

- 災害に対する知識
- 適切な行動をとる判断力
- 災害に備える態度

自助・**共助**

● 大雨の原因追究と自分たちにできること

→ 地球温暖化（海洋の温暖化）と
生活で排出する二酸化炭素の関係から

思考・判断・表現

防災に関する
知識・技能

課題を捉える段階

原因を追究する段階

情報を発信する段階

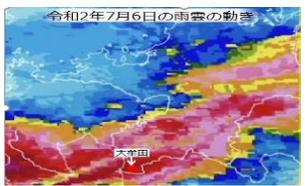
『大雨はなぜふるのか』

なせ雨(こつ雨)がふるのか
水がきび大きくなり量が増え
を上げたから
地球温暖化により海水温が上
がっている
『せん状降水帯』がでさ
大雨をふるさ巨大なせきらん
がいますわたから

調べました
ポスター

線状降水帯

『線状降水帯』
原因は？
大雨の原因
↓
海の温度が高いと
できやすい
(⇒地球温暖化をへらすためには？)



自分たちにできることは...

地球温暖化は、主に
二酸化炭素が原因。

↓ へらすために...

- なるべく電気をけしておく。
- 1つの物を大切に使う。
- ごはんをのこさず食べる。

『いらないからするではなくて、もっと使え
る方法がないかさがすことが大切。』



● 7月6日の状況 と これからの課題の取材

思考・判断・表現

防災に関する
知識・技能

課題を捉える段階

原因を追究する段階

情報を発信する段階



避難した人の数(7月6日~7月7日)

時刻	みなと小学校	三川地区公民館	市全体
16時	0人	0人	117人
17時	9人	15人	24人
18時	9人	15人	33人
19時	33人	15人	99人
20時	54人	15人	1,008人
21時	65人	15人	1,125人
22時	71人	15人	1,431人
23時	72人	149人	1,690人
24時	76人	157人	1,611人
1時	85人	157人	1,567人
2時	85人	157人	1,570人
2時			

自助意識に課題（**自助**の視点）
周囲の意識を高める（**共助**の視点）

自分の身を守るための
思考・判断・表現

知識・技能

課題を捉える段階

原因を追究する段階

情報を発信する段階

● 地域の被災状況を調査・整理

→ 浸水高や危険箇所などをフィールドワーク



● 調査した内容をまとめ、発信する

→ 子ども用・大人用・高齢者用に内容を分けてリーフレットを作成

自分の身を守るための
思考・判断・表現

知識・技能

課題を捉える段階

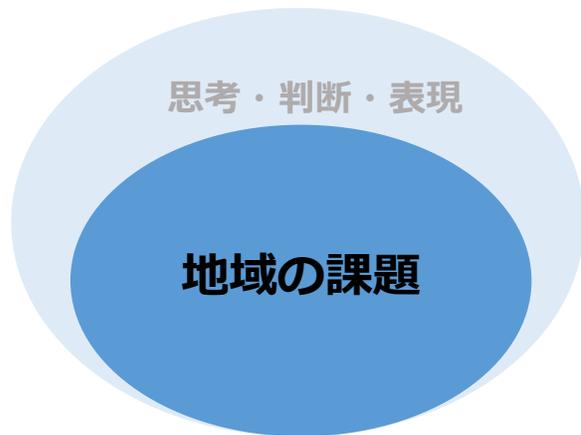
原因を追究する段階

情報を発信する段階



地域の公民館・高齢者施設
保育園・お店などに設置

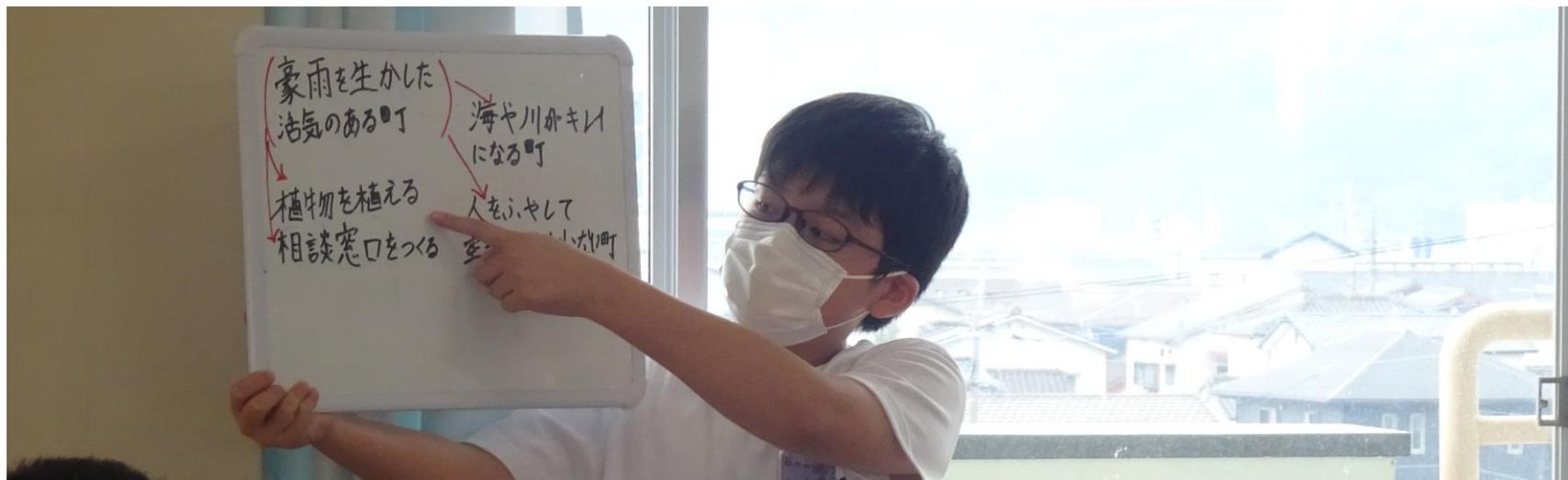
● 被災後1年が経過した校区に 残されている課題と自分たちの目指す未来像



課題を捉える段階

原因を追究する段階

情報を発信する段階



地域の課題

- 空き地が増えた
- 防災意識が低い
- 海や川が汚れている
- 危険な場所がある
- 植物が減っている

目指す未来像

- 活気あふれる町
- 災害に強い町
- ごみがなく、きれいな町
- 安心・安全な町
- 自然豊かな町

● みなと校区や市内の学校に 防災に関するアンケート調査

思考・判断・表現

地域の課題

課題を捉える段階

原因を追究する段階

情報を発信する段階



アンケート調査 (計 868名)

- ・ 三川地区公民館
- ・ 大牟田中央小学校
- ・ 宅峰中学校
- ・ 高齢者施設
- ・ 三池工業高校
- ・ 宮原中学校
- ・ 不知火保育園職員
- ・ みなと小学校保護者

令和2年7月豪雨に関するアンケート
みなと小学校 保護者様

大牟田市立みなと小学校 6年

私たちみなと小学校の6年生は、令和2年7月豪雨から1年たった大牟田の様子や人びとの意識について話し合い、これからの大牟田のことを考えています。このアンケートは、私たち6年生だけでなく、市内の各年代の方がたの意見も聞きたいと考えてお願いしているものです。アンケートへのご協力をお願いします。

1 あなたの年代を教えてください (どれかに○をつけてください)。
小学生 中学生 高校生 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

2 令和2年7月豪雨のあと、自分の地域の様子で変わったと感じることはありますか(防災訓練が行われるようになった、建物が取りこわされたなど)。
アとイのどちらかに○をつけ、アの場合はくわしくお書きください。

ア 変化を感じる

(具体的に書いてください)
みなと小の周りの家などが取り壊されているのを見ると、1人で寂しく感じます。子どもの頃から見ていた景色がととん変わって、いくのが悲しい。あと、少し雨が強くなった時など、家族1人全が確認するようになった。

イ 特に変化は感じない

● アンケートの整理・分析

思考・判断・表現

地域の課題

課題を捉える段階

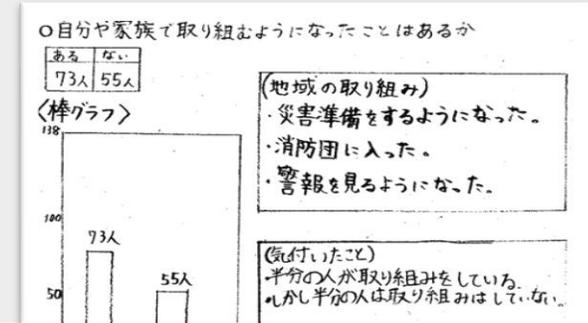
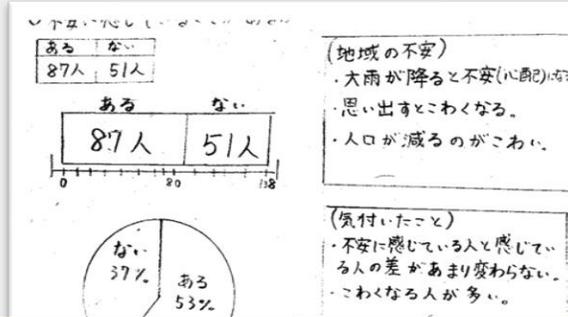
原因を追究する段階

情報を発信する段階

災害に対する不安

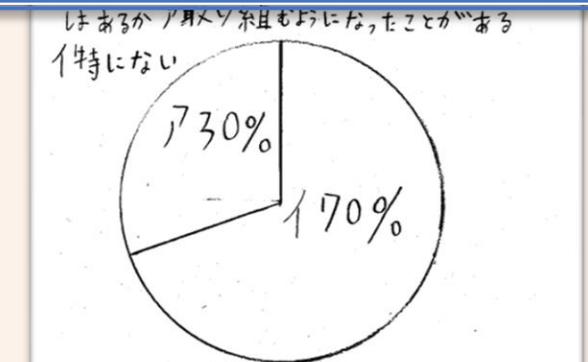
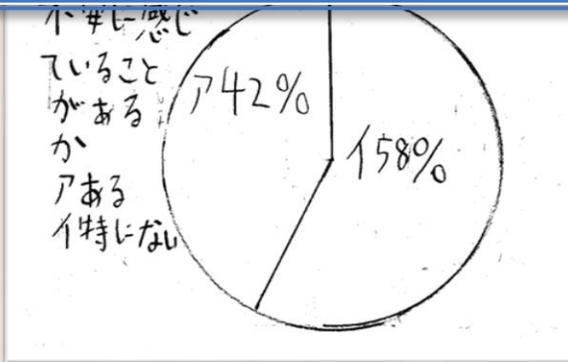
災害に対する取組状況

被災地域



防災意識に課題

被災地域外



- 地域の方々の防災意識を高めるために
自分たちにできることを考え、発信する



防災意識を高めるための交流会

楽しく学ぶ
・〇×クイズ
・紙しばい

しんけんに学ぶ
災害への対策
防災グッズのしょうかい
・防災バッグの中身
・食べもの

世代分け



結果分析

そこで防災バックについて調べ、じぜんに
やっておくことの大切さが分かりました。そ
して、そのことを家族につたえて、家に防
災バックをおくようになりました。少しでも
はやくにげられるように命を守る行動
の第一歩だから、これからも自分で考
えて、自分の命だけでなくほかの人の命を
守ることができるよう考えていきたいです。

私たちが望んでいることと、地域の方々が望
んでいることはちがうと思い、アンケートを
とりました。このことから私は、みんなのため
に自分たちが行動しないといけないとい
うことを学びました。学んだことをもとに

- 学習したことについて、家族や友達と話したり、実際に取り組んだりしている児童がいる（58.3%）。
- 問題を解決するために、まずは自分が行動する(44.4%)。
- 問題を解決するために、他者に問題を知ってもらったりする必要があるのである（44.4%）。

大雨の被害を乗り越える地域を目指して

防災・減災教育の主体的・対話的な体験活動の推進

×

令和2年7月豪雨の教訓を生かして

福岡県大牟田市立みなと小学校
教諭 石橋 剛志